

農学委員会・食料科学委員会合同 農芸化学分科会  
(第 24 期第 5 回) 議事録

日 時： 2019(平成 31)年 9 月 24 日 (火) 14:00~16:00

場 所： 日本学術会議 5 階 会議室 5-A (港区六本木 7-22-34)

出席者：熊谷日登美, 稲垣賢二, 加藤久典, 佐藤文彦, 清水 誠, 東原和成, 西澤直子, 西山 真,  
藤原葉子, 三輪清志

欠席者：久原 哲, 村中俊哉, 山下まり

1. 前回議事録の承認

熊谷委員長から, 第 24 期第 4 回議事録について説明がなされ, 承認された。

2. 生物多様性条約・名古屋議定書に関する課題検討の現状について

三輪委員から, 生物多様性条約・名古屋議定書に関する課題について, 「名古屋議定書国内措置についての現状」および「デジタル配列情報(DSI)の議定書における取り扱いの国際的議論」についての説明がされた。

3. 大型マスタープランについて

熊谷委員長から, 大型マスタープランについて, 農芸化学領域では 4 つの提案をしたとの報告があった。それら全てが学術大型研究計画案に採択され, そのうち「次世代を担う革新的なバイオマス生産・利活用技術の(農学学際)研究開発」が重点大型研究計画案を策定するにあたってのヒアリング対象として選出された旨, 西山委員より報告があった。

4. 農芸化学会の現状について

熊谷委員長から, 自ら務めている農芸化学会ダイバーシティ委員会の委員長として, 農芸化学分野における男女共同参画の現状報告があった。合わせて, 農芸化学会も含めた学術団体の会員減少について意見交換がされた。大学において, 農芸化学という専攻(学科)名称の復活の動きについて紹介された。

5. 公開シンポジウムの共催について

熊谷委員長より, 2019 年 3 月に農芸化学会大会に合わせて, 化学と生物シンポジウム「染色体遺伝子の新たな姿とゲノム編集(仮)」, および大会シンポジウム「変動する 21 世紀を, 農芸化学分野の私たちは以下に生きてゆくのか」を農芸化学会と共同主催する旨報告された。

加藤委員より, 2018 年 3 月に農芸化学会大会に合わせて開催した化学と生物シンポジウム「腸

内フローラ研究が拓く新たな健康科学と産業」について報告された。

#### 6. サイエンスカフェの開催について

稲垣委員から、第 126 回サイエンスカフェ(岡山)の実施報告がなされた。

熊谷委員長から、第 127 回サイエンスカフェ(東京)の提案書の説明がされた。

#### 7. その他

佐藤委員より、日本学術会議・食の安全分科会が他の 2 分科会と開催する「食の安全と社会」という公開シンポジウムの紹介があり、来期に当分科会も連携を推し進める方向で前向きに検討することとした。その他他分科会との連携についてのあり方についての意見交換が行われた。

次回の分科会は、2020(令和 2)年 3 月 26 日に九州大学で開催する。

以上